

沿岸定線観測速報 ちば (2022年8月)

千葉丸：8月6~8日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和4年8月15日

黒潮は、房総沖でやや接岸し、北東方向に直進していました(図2)。
水温は、銚子・九十九里海域、外房海域とも平年並~やや高めでした(表1)。

(詳細)

各水深における平均水温は、銚子・九十九里海域の水深0m及び外房海域水深50m, 100mで平年並みであった他は、やや高めでした(表1)。

水深10m,100mでは、岸から沖への顕著な水温勾配が見られました(図3,図5)。犬吠埼沖の水深350m~400mには低温・低塩分(8℃以下, 34.2以下)の水塊, 九十九里沖の水深100m付近には低温(14℃以下)の水塊が見られました(図5,図6)。また犬吠埼沖~太東埼沖の沿岸部では、33.0に近い低塩分の表層水が見られました(図4)。

海面の流況では、黒潮の北側や流路で北東方向へ2~3ノットの速い流れが見られました(図2)。

水深10mのクロロフィル濃度は、太東埼沖の沿岸で比較的高い値(2μg/L)を示しました(図7)。

キンメダイ漁場は勝浦沖, 銚子沖とも、水深約20m以浅で塩分が34.0以下でした。銚子沖では水深50m付近でも比較的低い塩分の水塊が見られました(図8)。2021年8月は欠測でした。

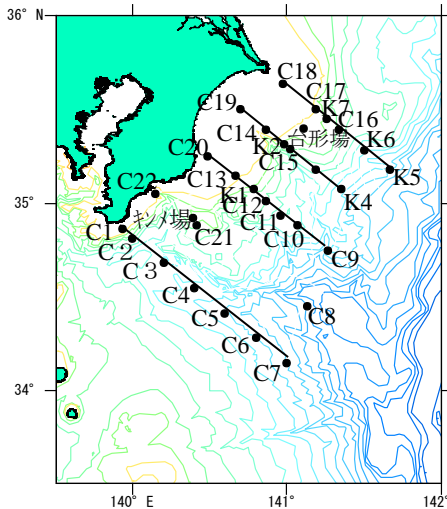


図1 調査点

線は北から犬吠埼, 九十九里, 太東岬, 野島埼南東線

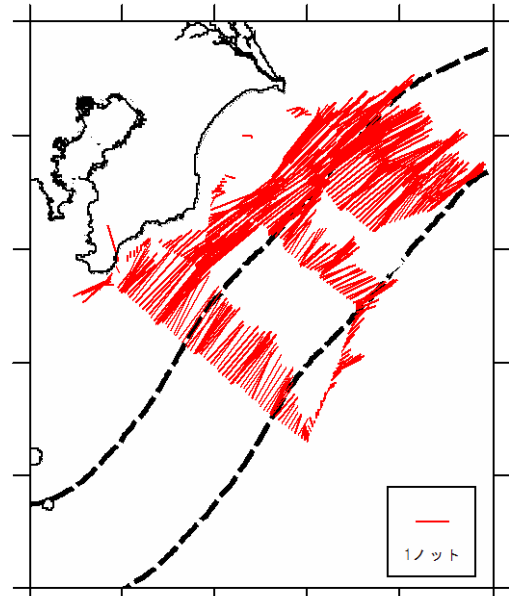


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	25.80 平年並み	21.77 やや高め	17.77 やや高め	14.88 やや高め
外房	27.08 やや高め	20.23 平年並み	17.78 平年並み	15.36 やや高め

*水温評価点 銚子・九十九里海域：C14~20 計7点, 外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

*沿岸水温評価の目安(σ:標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ~
高め	1.3 σ~2.0 σ
やや高め	0.6 σ~1.3 σ
平年並み	0.0 σ~0.6 σ, -0.6 σ~0.0 σ
やや低め	-0.6 σ~-1.3 σ
低め	-1.3 σ~-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ~

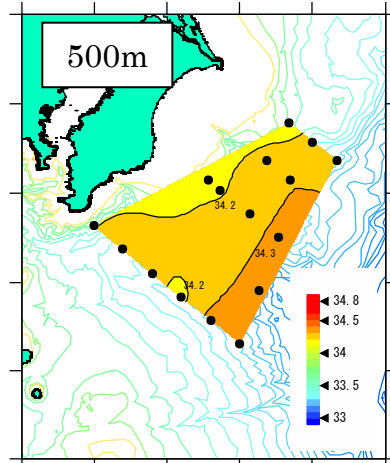
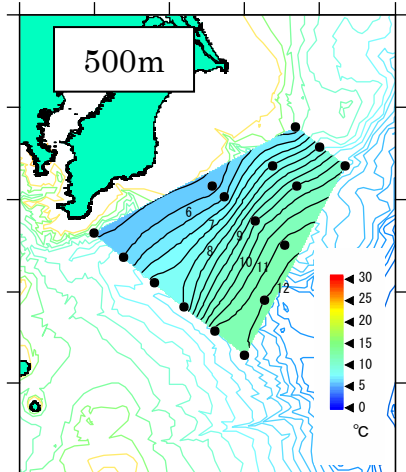
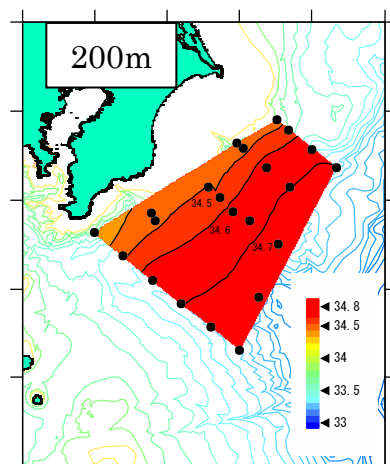
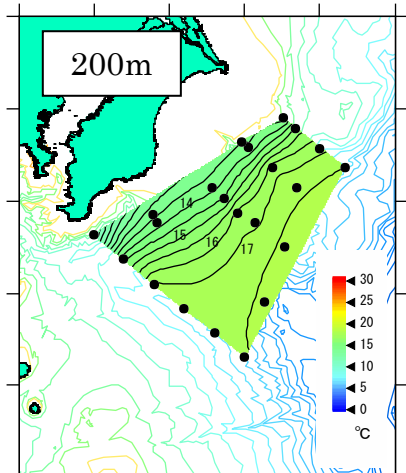
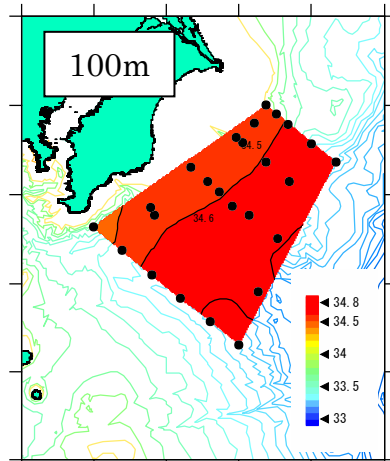
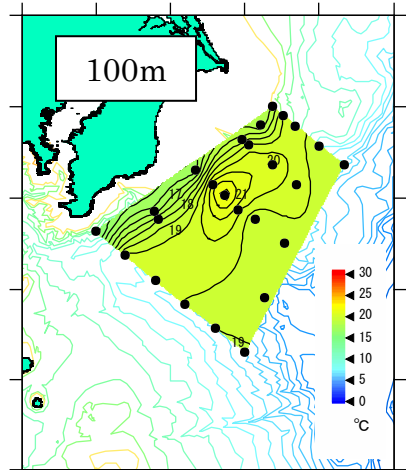
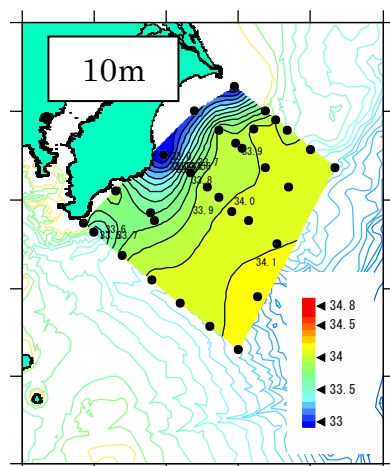
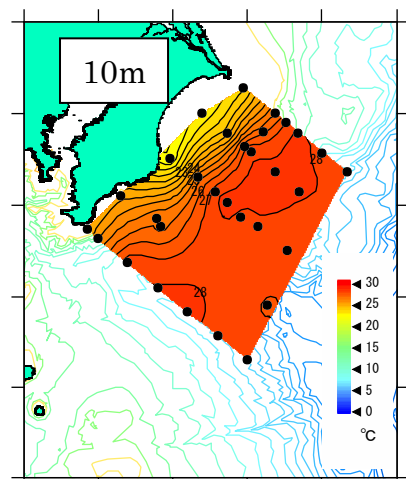


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

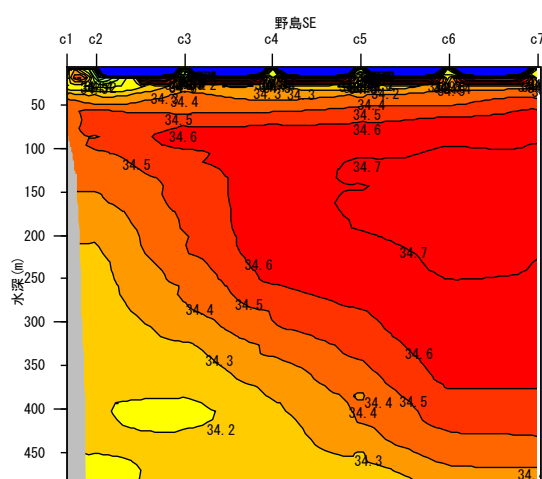
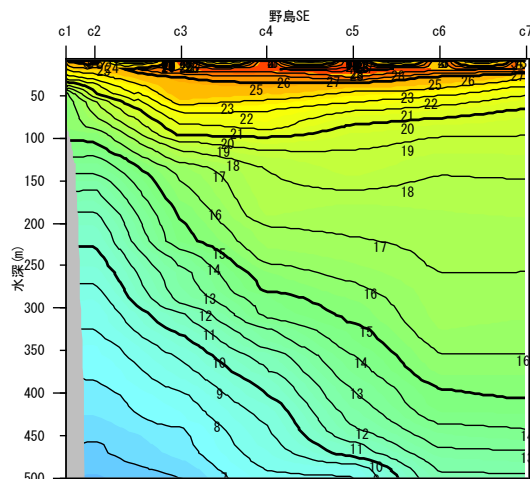
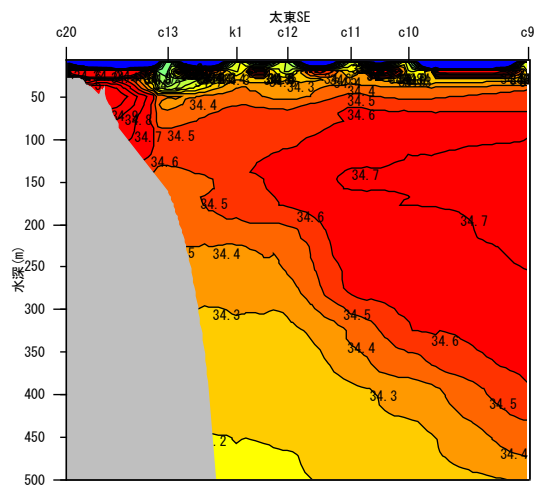
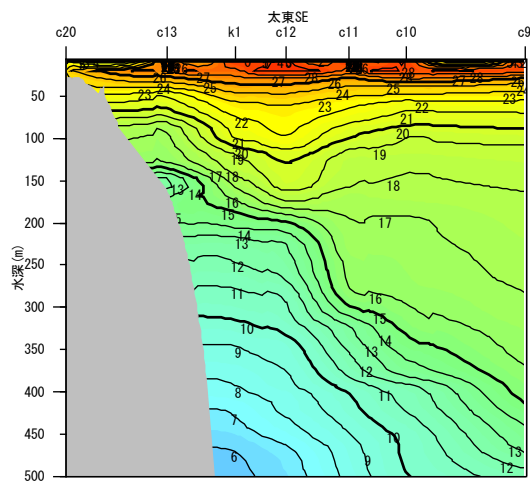
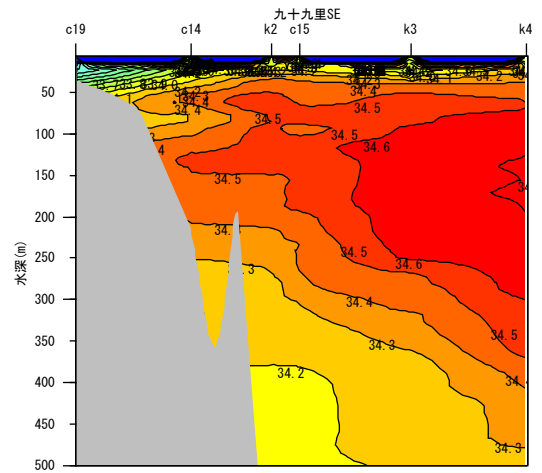
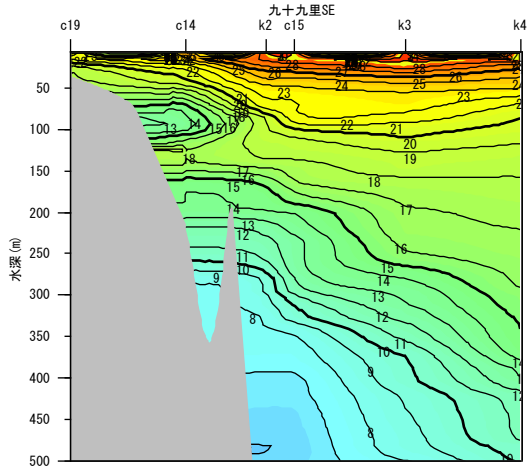
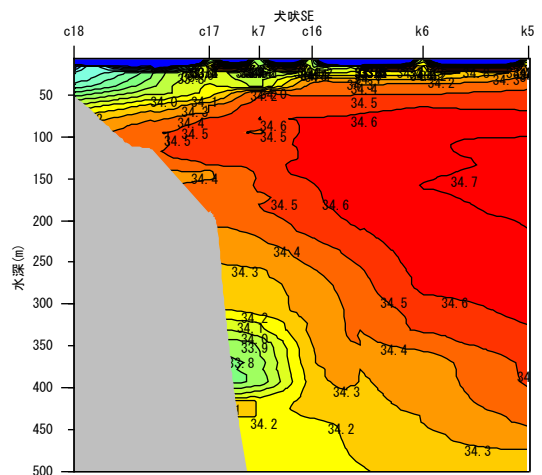
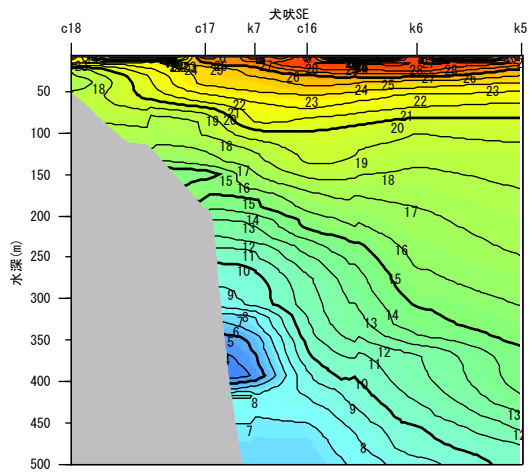


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東埼，野島埼南東線（図1参照）

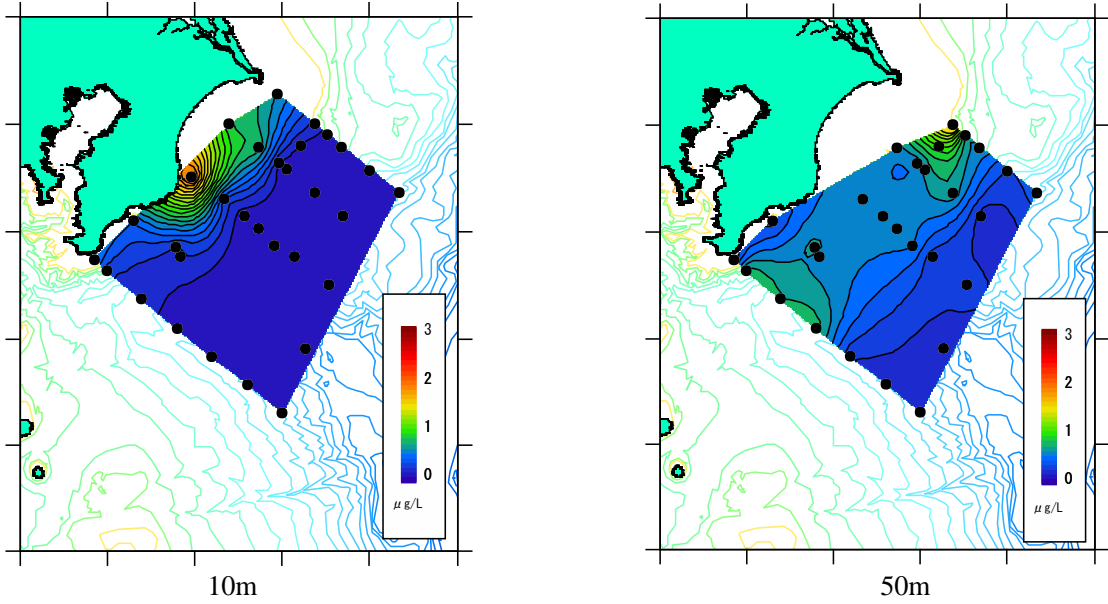
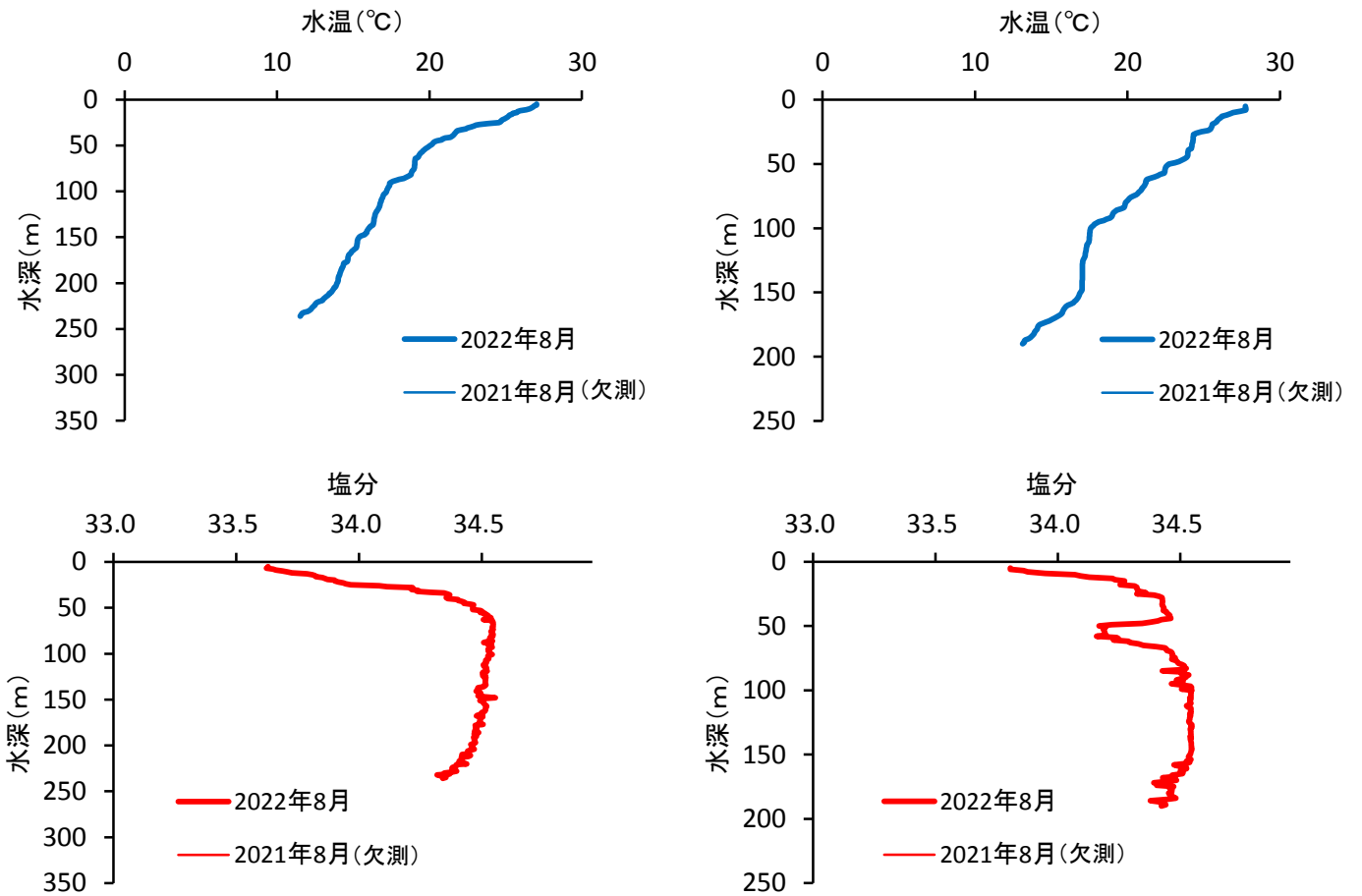


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温、塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)

2021年8月は欠測の銚子沖、勝浦沖ともに欠測のため、データなし